

# 日本山岳写真協会ニュース

日本山岳写真協会(Japan Alpine Photographers Association)

10月号

2020年10月15日発行  
(第477号)

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町15番4号 第一原嶋ビル502号  
TEL/FAX(03)5357-7387 日本山岳写真協会

メールアドレス [japa@lime.ocn.ne.jp](mailto:japa@lime.ocn.ne.jp) ホームページ <http://www.japa.server-shared.com/>



「燃える大同心」

青木 健次会員 撮影

**11月の月例会は中止といたします。**

このたびの「新型コロナウイルス」感染拡大防止につきましては会員各位の注意が必要かと思われまます。また登山・写真撮影につきましては充分御注意下さい。

したがって11月26日の月例会は中止とし、(東京・飯田橋開催)3月、5月、7月に引き続き中止とさせていただく事に決定いたしました。

◎会員の皆様には何かとご迷惑をお掛けしますがご理解・ご協力をお願い申し上げます。

# 「北アルプスの魅力」

大村 肅



私が自分の写真機を持つようになったのは中学一年の時だった。同時に暗室も作ってもらったので素人ながら一応 DPE のものまねを始めるようになった。撮影対象は身近な庭先の草花や家族のスナップなどで、構図や光線の具合を確かめるといふよりフィルムに当たった光を薬品の化学反応で印画紙に浮かび上がらせるのが面白く、ただ闇雲にシャッターを押した記憶がある。そういう時期も加えると写真歴は 60 年に近い。

その後始めた登山の方は大学入学と同時にに入った山岳部でとことん鍛えられ、卒業後も高校山岳部の顧問を務めたため、冬山・春山を含む年 6 回の合宿を定年まで続けることとなった。おかげで登山歴も 50 年を超えたが、如何せん大学山岳部の合宿はほとんどが北アルプスに集中し他の山域に活動域を広げることがあまりなかった。当時のヒマラヤ登山は極地方式が主流であったので厳冬期に長い岩稜でキャンプ地を伸ばす訓練を積むため北アルプスに集中していたのであった。

高校山岳部を指導するようになってからも自分の得意とする北アルプスに集中し、他の山域で合宿を行うことも数回あったが多くは判で付いた様に松本駅と信濃大町駅を利用していただいた。

高校生と合宿を重ねているうちに、文化祭で活動報告をしようということになり、一眼レフや 8mm 撮影機を持って行くことが多くなったが、景色を撮るといふより生徒の行動記録やテント内でのスナップなどが主で、印画紙に焼いても文化祭の発表以外では合宿後のミーティングで思い出を語る材料にする程度で、今にして思えばあの頃から山の景色の刻々と移り変わるさまを撮り溜めておけば良かったと後悔しきりである。

年間の合宿のうちメインは冬山で、上高地から入山し蝶ヶ岳の頂上に天幕をあげるのが

目的だったが、高校生にとって横尾からの急登ラッセルを経て、一張りが 10Kg 以上の冬用ウィンパー天幕を稜線に持ち上げるのは至難の業であったので、他の合宿はその冬山のための準備山行に過ぎなかった。

特に夏山合宿は 10 日前後だったから、十分な体力強化が図られた。雷鳥沢に定着して剣・立山を数日かけて歩き、その後は上高地までの地獄の縦走を行った。毎回大成功をおさめたわけではなく、時には太郎平から有峰口に降りたり、最後の槍ヶ岳が越えられず双六から新徳高へ下山したこともあった。また夏休みに入ってすぐの合宿であったので、まだ梅雨が明けきらず、室堂から上高地まで連日雨天の時もあったが、ゴールの上高地までたどり着くと木村小屋に泊まれて風呂に入れるというご褒美付きだったので気合が入った。最終日の双六の池を出るのは朝 3 時頃だったが、それでも上高地には夕方近くになり、西鎌尾根の登りでバテた部員が出ると横尾あたりで真っ暗の時もあった。夜になろうが雨が降ろうが只管に木村小屋を目指したのが懐かしい。

退職したいま、同じルートを歩きながら写真になるような題材はないものかと尾根上を徘徊している。一人で歩くようになって気づいたのは、今までずっと平らなところと思っていた場所が結構起伏があって息切れることが増えたことである。老化による脚力低下でペースが落ちるようではイカンと思い、トレーニングにより一層気合を入れるようにしてみたが、今度は腰の筋を痛めたのか同じ姿勢を長く続けると痛みが走るようになってきた。山の先輩でもある医者に診てもらったが、先輩曰く「筋力低下を悔やむな、ペースダウンを嘆くな。今まで一日で歩けたところを二日かけろ。周囲を眺める余裕も出て良い写真が撮れるぞ」解っているつもりでも先輩の助言はありがたいものだ。山に行くのではなくむしろ背中を押された感じがした。おかげで特に何の治療もしなかったが腰も良くなったような気がする。長い年月かけて脚が覚えた北アルプスの稜線。肌でとらえた稜線の風。身体全体で受け止めてきた神羅万象。この感覚をこれからはレンズを通して捉えたいものだ。

コロナ騒ぎがひと段落したら、気持ちも新たに北アルプスへ出かけよう。

## 9月定例理事会報告

日 時 令和2年9月17日(木)  
午後1時～3時  
場 所 日本山岳写真協会事務所  
出 席 者 飯田・岩本・大石・清水・小堀  
鈴木(菊)・渡辺 7名  
(司会)大石 (記録)岩本

### \*\*\*\*議題\*\*\*\*

#### 1 会員の入退会について

(入会保留) 1157 伊藤正光  
体調不良のため入会保留  
(所属変更) 1159 金井秀子 本部→両毛  
(メールアドレス変更) 526 中谷 照行  
teru27@nike.eonet.ne.jp  
(住所移転・メールアドレス新規)  
1046 塚本 克博  
新住所 〒401-0502  
山梨県南都留郡山中湖村平野 508-184  
メールアドレス  
tsukamotokatsuhiko@yahoo.co.jp

#### 2 各委員会報告

- 総務(岩本副理事長) 理事改選の信任はがきを10月理事会で検討後会報に同封する。
- 会計(小堀理事) 今年の会計の中間決算分を10月理事会に持参したい。
- 会報(飯田副理事長) 会報9月号は12頁、14日に入稿して校正中、発送は月末を予定。
- I/T(鈴木菊雄理事) ホームページの更新は9月始めに更新作業をした。  
来年のホームページの表紙写真の作品一覧を決めたので会報に掲載する。  
(今年は協会展が中止となり、2018年・2019年の協会展から選考した。)  
公募展チラシは山小屋関係にはすでに発送しましたが、ギャラリーやラボ関係などは12月頃発送予定。
- 写真展(清水副理事長) 2022年度からの協会展申請は都美術館で審査中。
- 企画(渡辺理事) 10月理事会は通常理事会で会場は「ハロー貸会議室神保町」で午後1時から開催予定。

#### 3 理事改選について

(令和3年～4年度 任期2年間)  
17日午前中に役員会(副会長・理事長、

副理事長)で開催した、改選予定の理事推挙案について協議し了承された。

令和3年・4年度の会長・副会長・理事長・理事・監事の改選案を大石理事長が説明した。

- 理事推挙案では再任理事は現在の理事13名と新任理事候補は4名の委員(大村 肅・関口俊夫・曾布川善一・緑川邦雄)と他に飯塚光男氏を推挙した。合計18名を新理事に推挙した。(杉浦敦哉氏は勤務の都合で退任)
- 理事信任については18名を理事団として一活信任を会員に投票してもらう。  
10月17日の定例理事会で意見交換して確認後、信任依頼の返信はがきを準備して10月会報に同封する。返信期限は11月15日までとした。

#### 4 10月理事会開催について(渡辺理事)

17日(土)午後1時より通常理事会として広い会場の「ハロー貸会議室神保町」で開催する。

感染防止として出席者はマスクを着用すること、密接防止のため座席の配列を考慮する・消毒用アルコールは会場で準備している。

- 会場は千代田区神田小川町3～10 新駿河台ビル8階(JR総武線 お茶の水駅下車)東京メトロ半蔵門線、都営新宿線、都営三田線の神保町駅 A5出口 徒歩3分)  
尚、11月、12月理事会も通常理事会として開催を計画する。議題は来年度総会資料等を審議する。日程など別途検討する。  
12月開催予定の合同理事会についても開催方法などを検討する。

#### 5 令和3年度の定期総会及び新年会開催について

- 定期総会(開催予定日 2月7日)  
定期総会を予定通り上野精養軒会場で開催した場合の感染症対策、地方会員の出席者の見込みなど。また 開催しない場合の会計決算書・予算案の承認と会長、副会長の任期満了に伴う改選の承認をどうするかなど10月理事会で検討したい。
- 新年会について

開催した場合は会食方式をどうするか。招待者をどうするか。地方会員の参加見込みは等、リスクを伴う行事で中止も含めて意見交換した。継続審議として10月理事会で検討して決めたい。

## 6 其の他

- 東海支部開設40周年写真展が11月17日～23日 愛知県美術館（名古屋市東区）「愛知芸術文化センター8階」にて開催する。
- 換気用の拡散タイプの扇風機を準備した。（清水副理事長）

○2021年カレンダーは部数が少ないので営業用などに持参する場合は記帳してもらう。（清水副理事長）

○令和3年の選抜展の募集要項を10月会報に掲載する。応募作品の締め切りは11月30日迄とする。

12月に作品審査を予定する。（小堀理事）

○デジタル研究会が8月22日リモートで開催し、12名が参加した。（鈴木菊雄理事）

■次回定例理事会 10月17日（土）  
午後1時～3時 ハロー貸会議室神保町

# 2021年 協会ホームページ 表紙写真予定表 (2019年 2018年写真展作品より)

月	タイトル	場所	作者名
1	風雪の後	谷川岳・オキノ耳付近	長谷川由美子
2	八甲田の樹氷と大岳	青森県・八甲田山 田茂菴岳	大石 高志
3	突然の怪光	熊本県・ミルクロード的石	矢吹 雄治郎
4	マチャブチャレの朝	ネパール・ポカラ	土谷 尚雄
5	春	尾瀬ヶ原・上田代	鈴木 隆志
6	もののけの森	北八ヶ岳・白駒池	新井 博幸
7	うねる稜線	南ア・赤石岳	佐藤 高広
8			Japa展より
9	初秋の裏剣	北ア・仙人池ヒュッテ	石井 和廣
10	秋元湖秋景	福島県・裏磐梯	松野 正雄
11	奥穂とうろこ雲	北ア・涸沢	大谷 光一郎
12	厳冬の鳥甲山	新潟県・秋山郷	渡来 勤也

来年2021年の1月からホームページのトップに掲載する作品です。2020年の写真展中止に伴い、2019年と2018年の出展作品より山域・季節・絵柄などを基準に選んでいます。

掲載する記事により順番やスペースが変わることもあります。

ホームページは毎月末から月初めに更新していますので、会員の活躍や写真展などの掲載依頼は20日頃までに下記の担当メールにご連絡下さい。

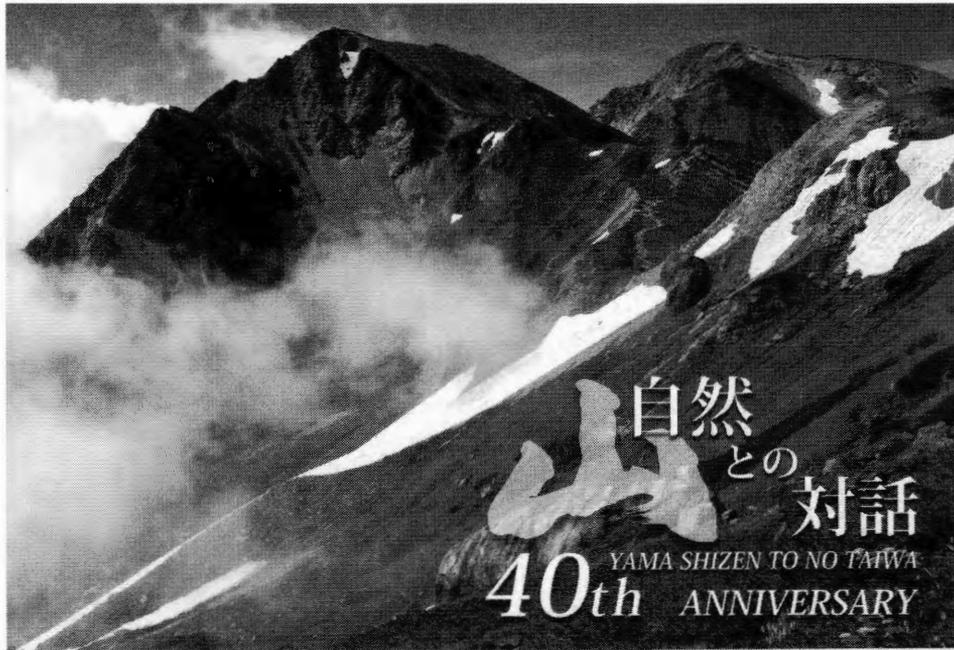
毎月のホームページ更新 担当理事：鈴木 菊雄 suzu99@d9.dion.ne.jp

◎ホームページ別館、会員用、SNS・Facebook 上ヶ平裕彦理事が担当 kami@forest.ocn.ne.jp

# JAPA最後の砦！！

日本山岳写真協会・東海支部  
＜山・自然との対話＞  
創設40周年記念写真展のご案内

佐藤 孝也



2020年は新型コロナウイルスの猛威から登山の自粛や写真展の中止など山好き写真好きな方々は大いにストレスを感じているかと思います。日本山岳写真協会も本部展、支部展はすべて中止となり、我ら東海支部のみが最後の砦として山岳写真展開催をすすめてまいりました。さらに当支部は本年40周年を迎え、名古屋市にある愛知県美術館にて92点もの山岳写真を盛大に展示致します。本部、各支部の皆さまよりお借りした作品も展示、美しさと迫力ある作品群は見応えあり、お客様には山へ行った気分を十分に味わっていただけると自信をもってお迎えする事が出来ます。今回40周年記念として展示した東海支部員の作品をフォトブックに纏めました。会場にてワンコイン（500円）で販売を予定しております。もちろんJAPAカレンダー「日本の名山」も販売致します。

このご時世でおもてなしは出来ませんが、記念祝賀会も中止しましたが、何卒足をお運びいただきます様、東海支部メンバー21名、心よりお待ちしております。

＜詳しいご案内はDMをご覧ください＞

2021年（令和3年）

日本山岳写真協会 No. 18 選抜展 作品募集

- 開催の趣旨 ★創作意欲ある会員の作品発表の場とし、単写真から組写真へ、ステップアップを目的とします。会員皆様の創作意欲あふれる作品を応募して頂けるようお願いいたします。
- 応募の資格 ★全会員（ベテランも新しく入会した者も全ての会員が対象です）
- 主催 ★日本山岳写真協会
- 期 日 ★2021年11月～12月を予定（写真展会場側が決定）
- テ ー マ ★山と関わりのある組写真ないし連作写真。日本の山でカラー及びモノクロ作品。共通テーマは『それぞれの山』とします。
- 応募先 ★〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町15番4号 第一原嶋ビル502号室
- 締 切 ★2020年11月30日（月曜日）午前中必着（時間指定）  
（選抜展と明記、宅配便でお願いします）
- 応募 点数 ★2～4点の作品として構成できる組写真ないし連作写真。  
★応募組数は2作品まで可とし、1作品に付2点までの予備を認めます。
- 出展 人数 ★12～15名。
- 応募 要綱 ★テーマ（タイトル）は一点一点ではなく組写真としてつけるものとし、150字位のキャプションを合わせて提出する。  
★ポジフィルムは厚紙等で保護し、一点ごとに応募票を付ける。  
★デジタルは、過度の修正をしないもので、全紙プリントが可能な作品とする。応募は六切～A4プリント限定（自家プリント可）  
応募票を裏に貼り付けプリントと同一のデータ（JPEG または TIFF/8BIT が望ましい）のCD又はDVDを付ける。応募されたプリントで審査するため、プリントの寸法寸成度によっても左右されるので要注意。  
★応募料は無料、作品返却経費も無料（デジタル応募は返却無）
- 審 査 ★写真展審査委員会  
出展者の決定は5月号会報に掲載を予定、会場及び開催期日が決定してからとなります。
- 作 品 ★展示作品は全紙2点～4点で構成。  
グロッシープリント、マットパネル貼り。キャプションはA5版にて展示。
- 費 用 ★検討中
- そ の 他 ★出展者には出来る限り、実務で協力をお願いします。  
★出展者の意志は尊重しますが、作品構成等は実行委員会に一任とします。

写真展委員・選抜展担当 小堀 彰 携帯 090-1616-7407 TEL 043-279-0097

E-mail: [ako@k-p-p.co.jp](mailto:ako@k-p-p.co.jp)

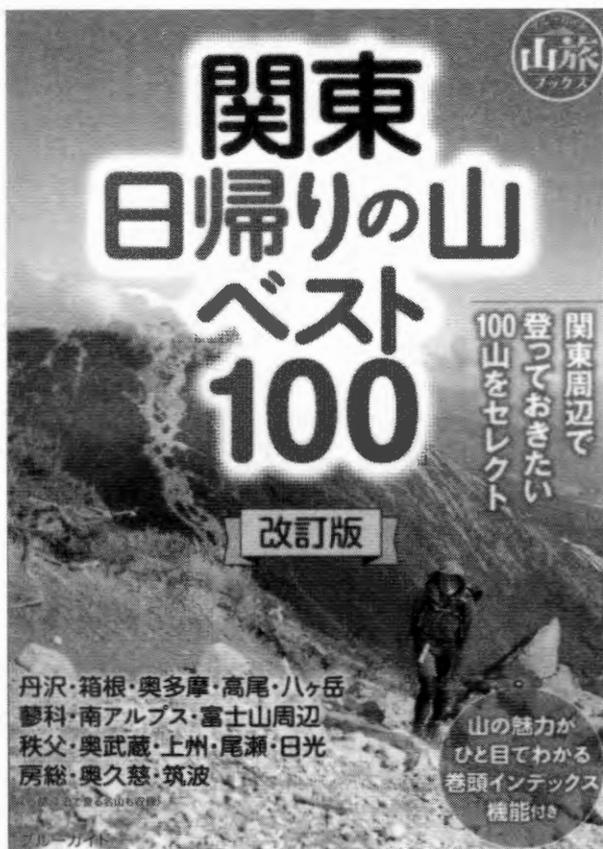
2021年日本山岳写真協会・選抜展 『それぞれの山』応募票				2021年日本山岳写真協会・選抜展 『それぞれの山』応募票			
受付番号	記入しない			受付番号	記入しない		
組写真・テーマ				組写真・テーマ			
応募枚数	枚組	枚目・予備	枚	応募枚数	枚組	枚目・予備	枚
撮影場所				撮影場所			
撮影年月・西暦	20	年	月	撮影年月・西暦	20	年	月
カメラ				カメラ			
レンズ				レンズ			
応募ファイル	TIFF8 ビット・JPEG			応募ファイル	TIFF8 ビット・JPEG		
撮影時記録画質	RAW JPEG			撮影時記録画質	RAW JPEG		
デジタル撮影時	ISO			デジタル撮影時	ISO		
ポジフィルム	35・645・6-679・45			ポジフィルム	35・645・6-679・45		
フィルター	無・有			フィルター	無・有		
名前を記入しない DVD・CD				名前を記入しない DVD・CD			

応募票に名前は記入しないで下さい。応募票はコピーして下さい。

応募票は一点一点に付ける（予備にも）。デジタルはプリントの裏に貼り付ける。

フィルムは大きめの透明ポジ袋に入れ下に貼り付ける。マウントの使用は不可とする。

日本山岳写真協会・選抜展写真委員会



## 関東日帰りの山 ベスト 100 「改訂版」

清水 隆雄会員共著

本書は、実業之日本社発行の「ブルーガイド・山旅ブックス」シリーズで、10年続いたロングセラーである。昨年改訂版が出されたが、早くもその重版が発行となった。

協会会員の清水隆雄氏が「櫛形山、入笠山、北岳、甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳、鳳凰三山」を担当している。

地図や、コースタイム、高低差なども表示され、写真も多く使われていて見やすい。

A5版、1700円+税

## 会員の皆様へ協会事務所電話等の問い合わせについて

協会事務所は係が常駐していませんので、問合せ、連絡等は担当理事宛にて電話ないしメールで、直接連絡をお願いします。

(総務)	岩本 直樹 (入退会、休会、名義申請等)	046-256-1422	i.naoki@wonder.ocn.ne.jp
(会計)	瀬戸口隆司 (年会費、会費振込等)	03-3929-4459	bachseto@yahoo.co.jp
(写真展)	清水 隆雄 (協会展、公募、選抜展等)	042-563-5778	tshimizu39@comet.ocn.ne.jp
(会報)	飯田 信義 (原稿掲載依頼、DM 掲載等)	048-931-0526	iida_nobu_1413_photo@ybb.ne.jp
(企画)	渡辺 良 (月例会等)	047-479-0511	watanabe_makoto817@yahoo.co.jp
(HP)	鈴木 菊雄 (協会 HP 掲載依頼等)	047-184-0702	suzu99@d9.dion.ne.jp

## 会員各位

本年12月で理事任期が満了となり令和3年・4年の理事改選となります。会報(10月号)に挿入のハガキに記名して、11月13日までに投函して下さい。

### 表紙の言葉

#### 「燃える大同心」

両毛支部 青木 健次

立ち込めるガスの中  
硫黄岳山頂で夕景を撮ろうとしばらく待機。  
陽が傾き始めた時ガスが流れ、主峰赤岳が姿を現した。

12月号の予告  
表紙 山梨支部  
巻頭言 首都圏

#### 年末・年始のあいさつを遠慮する方に

喪中のため、年末年始の挨拶を遠慮する方で会報に掲載を希望する方は、続柄を書き会報担当(飯田)までお知らせください。

## 11月号の会報は 休刊となります

日本山岳写真協会 事務所

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町15番4号  
第一原嶋ビル502号  
TEL/FAX.(03)5357-7387  
事務所には常駐していません

会報担当：飯田信義・上ヶ平裕彦

### ==== 会員往来 =====

#### メールアドレス変更

- 堀口裕央 (No.957)
- 新メールアドレス  
<jhorihori209@gmail.com>